

# 練りの用心棒

**操作説明書 2018 Ver1.10**

**うねり取り 練習専用 EXCEL ツール**

**2018 年 1 月 28 日**

**作成者: うねりドリらぁ**

このたびは、練りの用心棒をダウンロードしていただき、ありがとうございます。<(\_)\_>

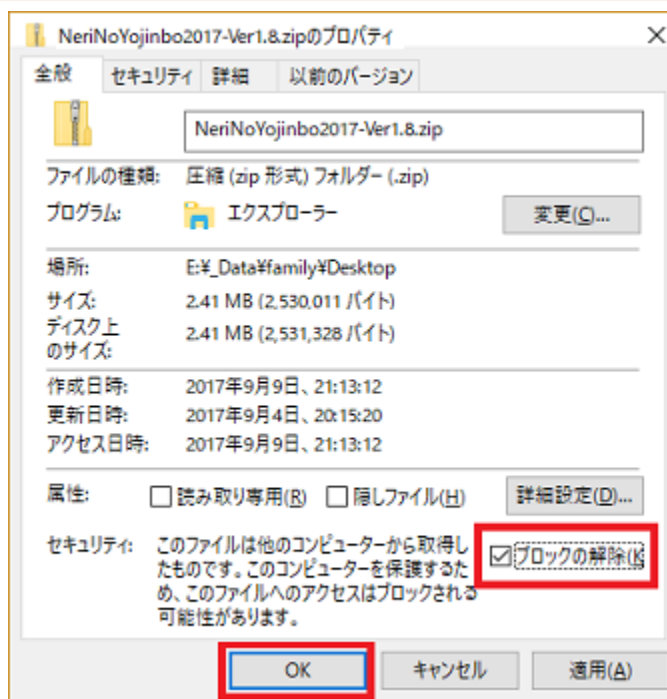
ダウンロードいただいた **zip ファイル** を解凍する際には、**以下に示す留意事項があります**のでご配慮願います。

Windows では、インターネット上からダウンロードしたファイルに対し「特殊なフラグ」が付けられます。

さらに、OS 付属の zip ファイルの展開機能を使った場合、展開した先のファイルにも、この「特殊なフラグ」が引き継がれてしまいます。

「特殊なフラグ」が付いている実行ファイル（EXCEL マクロ、BAT ファイル、パワーシェル等）は Windows のセキュリティ機能により、その実行が制限されて正常な動作ができません。練りの用心棒でも一部機能に使用しておりますので、以下の手順で処置をお願いします。

ダウンロードした **Zip ファイル** を右クリックして**プロパティ**を開き、「**ブロックの解除**」を**チェック**して「**OK**」をクリックします。  
展開前の zip ファイルならば、zip ファイルのブロックを1つ解除すれば OK ですが、すでに展開済みということであれば、展開したファイル（Tools の下の拡張子 Bat と Ps1 のファイル）を1つずつ、すべてブロック解除していく必要があります。



# 目次

## 目次

1. 「練りの用心棒」とは	4
2. 操作の概要	5
(1) とにかく起動してみましょう。	5
(2) ウィンドウ調整 1 【EXCEL2007／2010 で、解像度 1366x768 の場合】	7
(3) ウィンドウ調整 2 【EXCEL2013／2016 の場合】	10
(4) 日々の利用の流れ	13
3. 建玉シート	14
(1) 建玉シートの入力仕様	14
4. チャートシート	17
(1) チャートシートの表示機能	17
(2) チャートシートの編集機能	19
5. 株価データの装着	21
(1) 株価データの形式	21
(2) 株価データの装着	22
(3) 株価データの取得について	23
6. アクティベーション	24
7. 制限事項等	25

# 「練りの用心棒」とは

## 1. 「練りの用心棒」とは

「練りの用心棒」は、直近の株価データを装着し、実際の株価変動に即してうねり取りの練習ができるEXCEL表ツールです。  
1日に1手しか進めず、使っていくのに辛抱が要りますので、「うねり取りの要辛抱」という意味の名称にしています。

以下の観点で練習を行うことができます。

- (1) 当日までの株価チャートを見て翌日の建玉を入力しておき、その翌日の株価データの推移で建玉の操作を反省する。
- (2) 本番で株価が思わぬ方向へ変動して失敗した場合、数日前時点に巻き戻して、フレイバック練習を納得するまで行う。

「練りの用心棒」では、予め準備いただいた株価データでチャートを一日ずつ進めながら疑似トレードを行い、具体的な結果(儲け具合)と損益推移を確認しながら楽しく且つ軽快に「うねり取り」の練習を進めることができます。

お試し中は、年初1か月分のみのチャート利用に制限されます。

ライセンスをご購入されましたら「練りの用心棒 20XX-アクティベーション.xlsm」を使用して有効化してください。

本ソフトは有期限のシェアウェアです。(「用心棒代」なので、期間契約ということでご理解願います。(◇)ゞ)

「練りの用心棒 2018」は2018年のカレンダーに対応しており、且つ、利用期限は2019年3月末までです。

(利用期限が到来しましたら、建玉操作でのチャートの連動機能が停止します)

新年を迎える前に翌年分の「練りの用心棒 20XX」を別製品として登録する予定です。

毎年、新しい用心棒を雇っていただけることを期待しております。

# 操作の概要

## 2. 操作の概要

(1) とにかく起動してみましょう。

① 「練りの用心棒 20XX\_XX\_XXXX 銘柄.xlsx」 を起動すると下図のような2画面構成で EXCEL が立ち上がります。

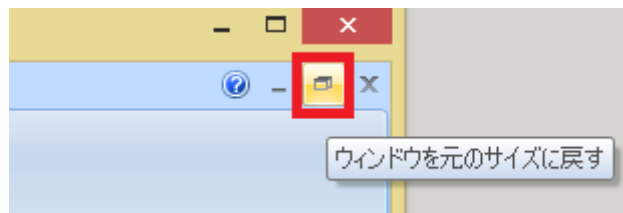
[EXCEL2007/2010 で、解像度 1920x1080 の場合]

起動したら、取り急ぎ「売-買」列の任意の日付のところに「**ピリオド**」を入力してみてください。

⇒日足チャートが、「ピリオド」を入力した日付まで進みます。(注：お試し中は、1月の範囲内でチャートが連動します)



(注：起動時に1画面しか出ない場合は、EXCELシートが最大化されているかと思います。この場合は、EXCEL 右上の「ウィンドウを元のサイズに戻す」ボタンを押してみて、2画面構成にしてください。)



※：以降の説明では、左側画面を「チャートシート」右側画面を「建玉シート」と表現します。

- ② 後は、右側画面の「売-買」のセルに建玉を入力していただくだけです。  
チャートを進めるのも、損益計算もすべて自動でやってくれますので軽快に建玉練習ができます。
- ③ 建玉を変えずに継続をするときは、「. (ピリオド)」を入力します。
- ④ 「区切る」ときは「0-0」で建玉を入力します。行が緑色(アンダーライン付)となります。(投入額は0になります)
- ⑤ 途中で保存するときは、ウィンドウ配置がくずれないように、必ず、2画面状態で「上書き保存」してから閉じてください。

「上書き保存」せずに終了させると、1ウィンドウずつ正常に閉じられ、最後は一つのウィンドウが最終状態と記憶されます。  
この場合は面倒ですが次の手順で配置し直してください。

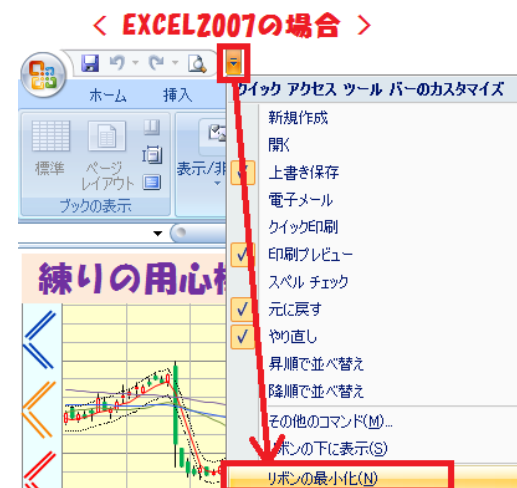
- ・「表示」タブ内の「新しいウィンドウを開く」をクリックします。  
⇒ 練りの用心棒 20XX.xlsx:1 と:2 の2つのウィンドウになります。
- ・右側に：1のウィンドウ、左側に：2のウィンドウを配置します。

注) 一般的に、黄色のセル部分は入力可能なセルという仕様で作成してあります。

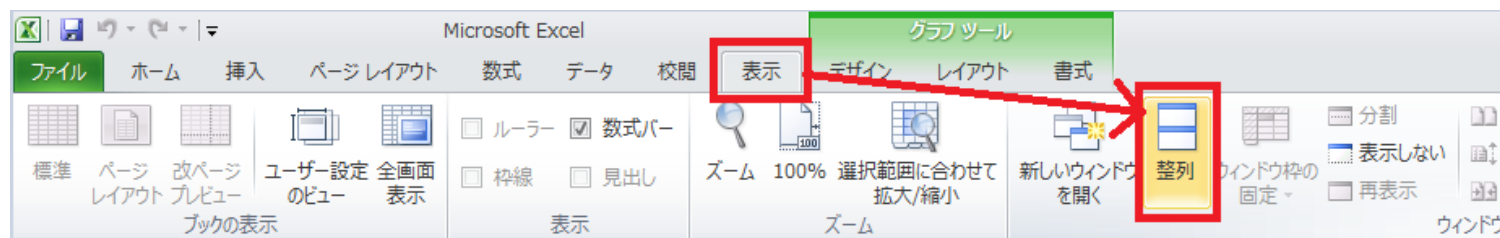
## (2) ウィンドウ調整 1 【EXCEL2007/2010 で、解像度 1366x768 の場合】

練りの用心棒は、解像度フルHD (1920x1080) を標準としており、WXGA (1366x768) の解像度の画面で起動すると 2 画面全体がうまく表示されません。この場合は以下の手順でウィンドウを再配置して下さい。

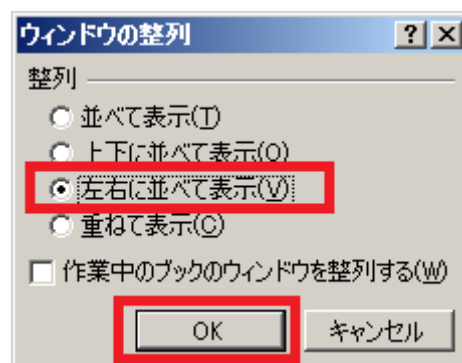
- ① 解像度が少なく、画面右下がはみ出した状態になる場合、まず、**リボンの最小化**を行います。



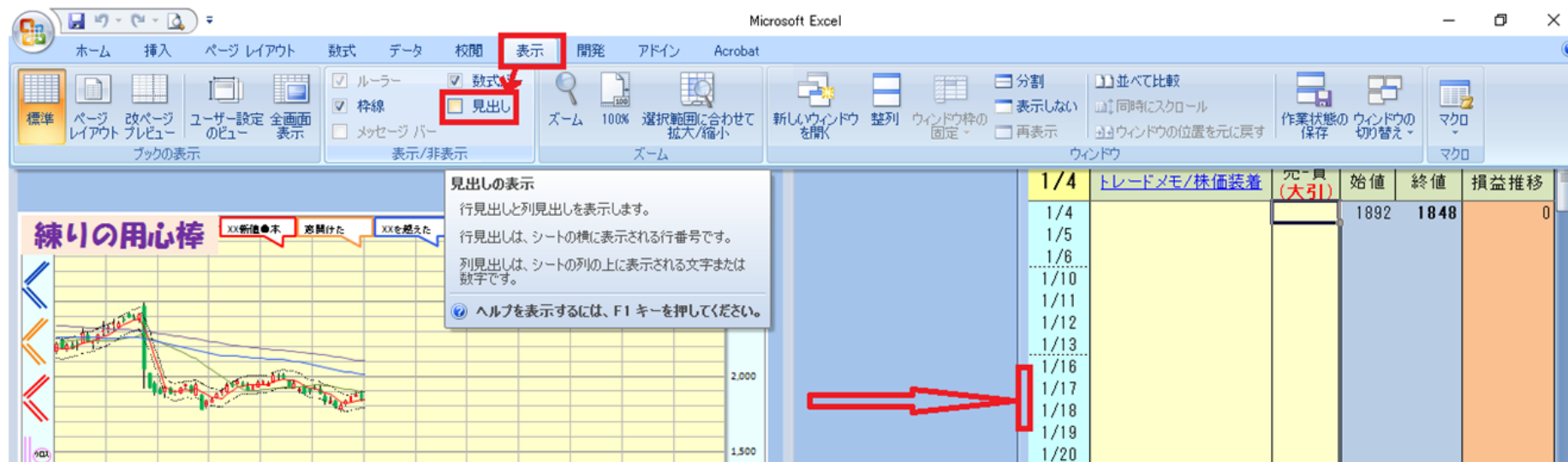
- ② 「表示」タブでウィンドウの「整列」をクリックします。



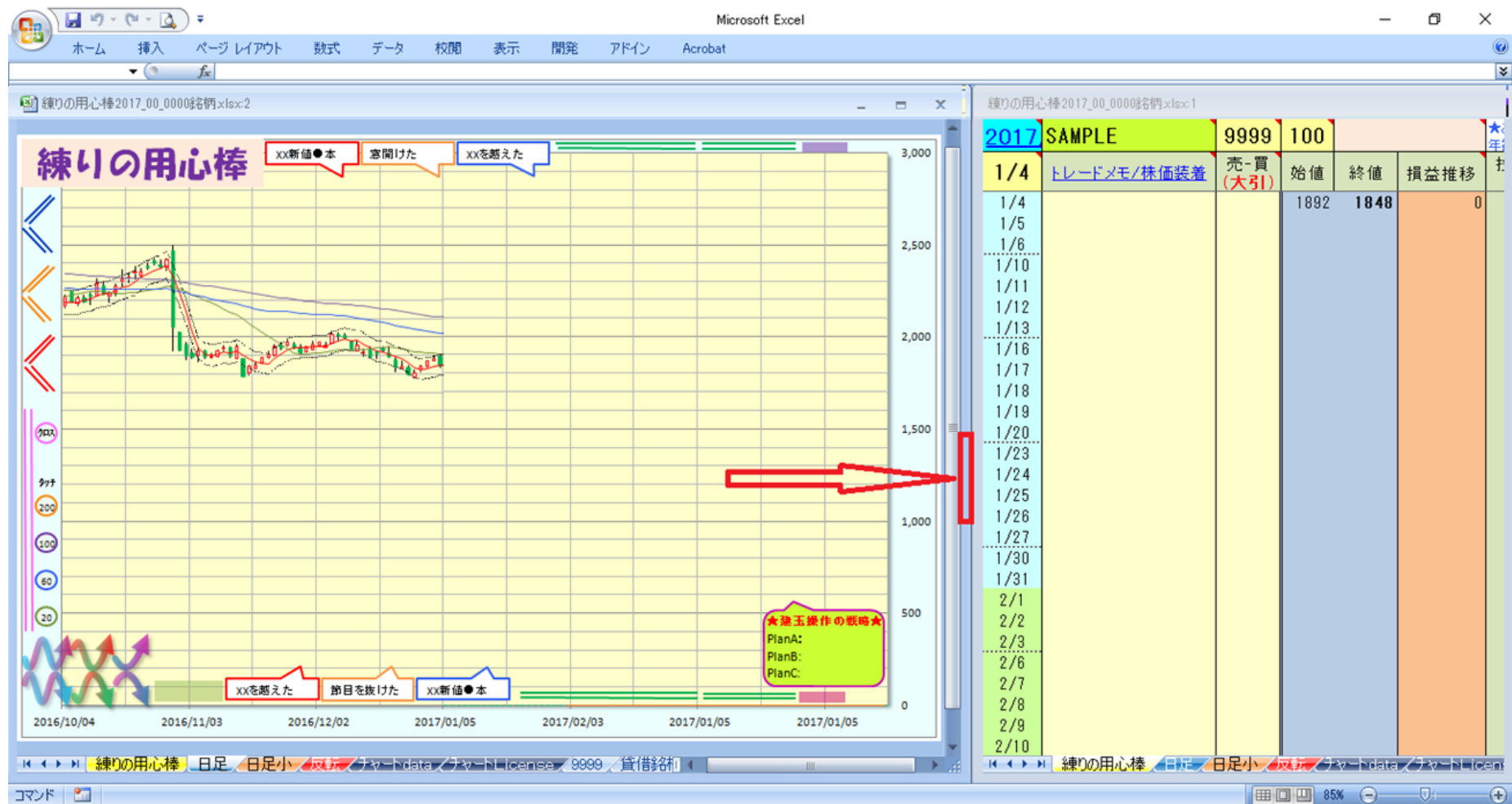
③ 「左右に並べて表示」をチェックして「OK」をクリックします。



④ 画面右側の「建玉シート」をアクティブにして、「表示」タブの「見出し」のチェックを外します。「建玉シート」の左端をドラッグして、「損益推移」の列が右端にくるまで右側に寄せます。



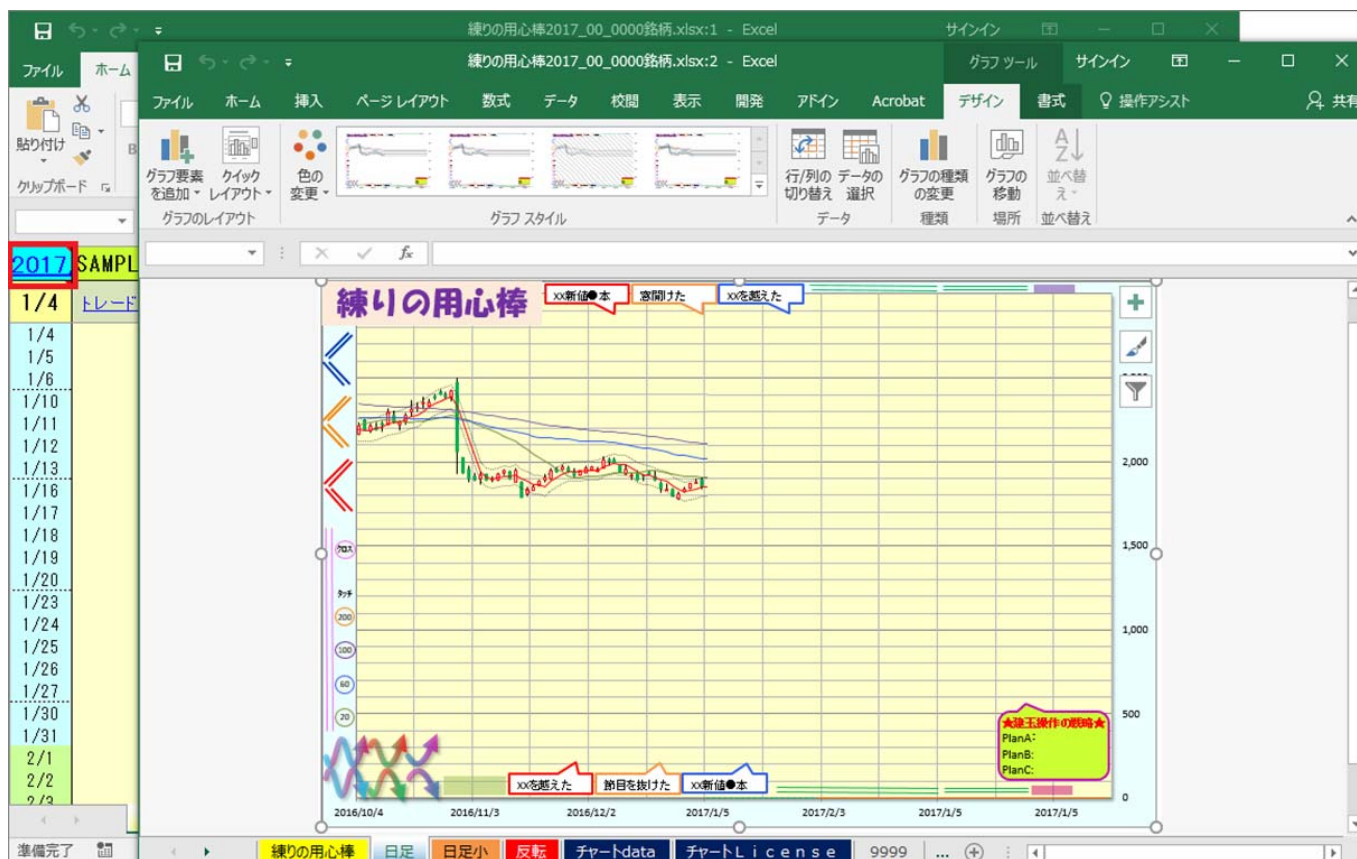
- ⑤ 画面左側の「チャートシート」の右端をドラッグして、「建玉シート」のところまで広げたら完了です。一旦、上書き保存してください。



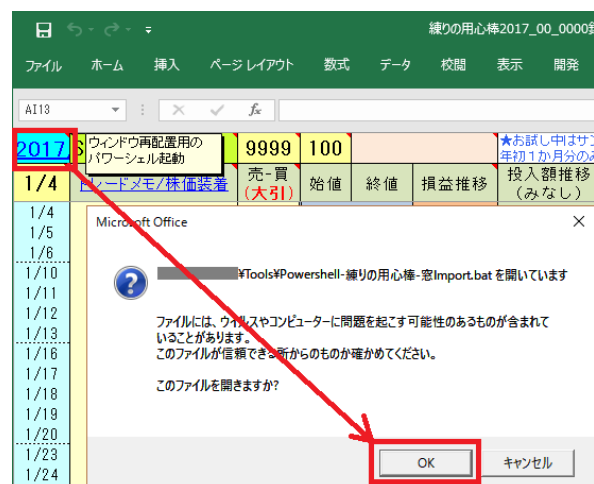
### (3) ウィンドウ調整2 [EXCEL2013/2016の場合]

Excel 2013 および Excel 2016 の場合、Excel で開いているブックは 1 つの Excel ウィンドウ内の複数のブック ウィンドウに表示されず、複数の Excel ウィンドウに表示されてしまいます。この場合は以下の手順でウィンドウを再配置して下さい。

- ① 年号のセルが表示されている建玉シートのウィンドウをクリックし最前面に表示させます。

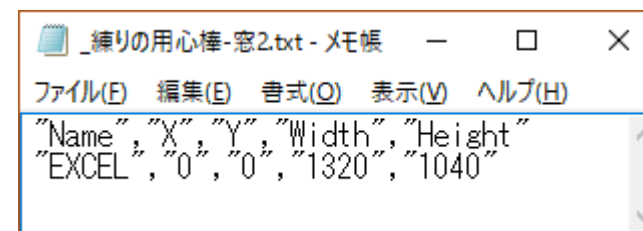
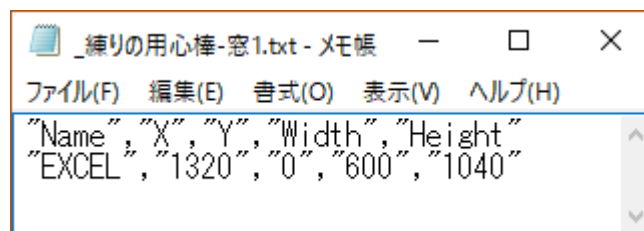


- ③ 年号のセルをクリックし、「Powershell-練りの用心棒-窓 Import.bat」を開く確認画面が出てきたらOKを押します。



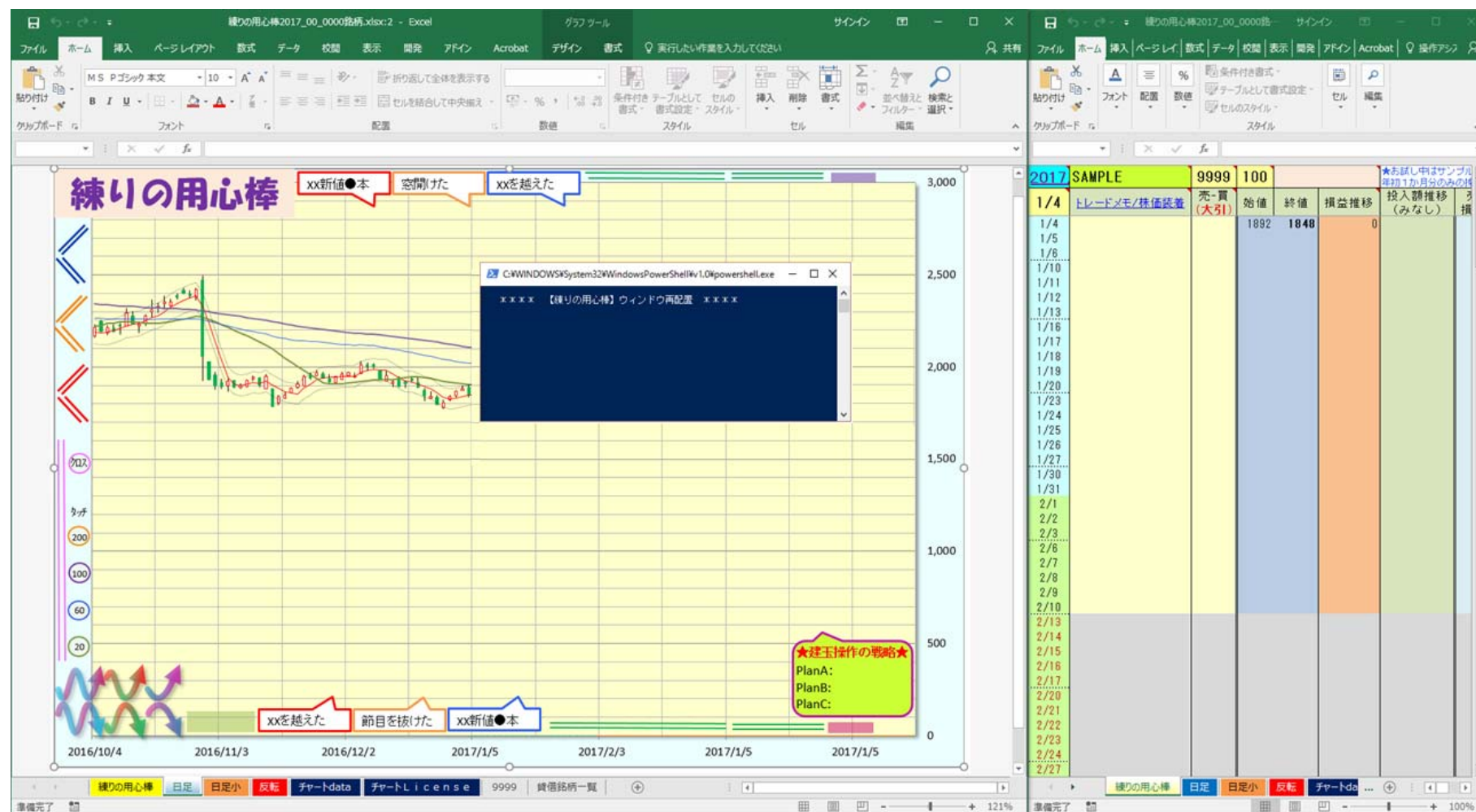
【補足】

「Powershell-練りの用心棒-窓 Import.bat」では、Tools フォルダ下の「練りの用心棒-窓 1.txt」と「練りの用心棒-窓 2.txt」で定義された位置にそれぞれ、建玉ウィンドウとチャートウィンドウを再配置します。



初期値は、解像度フルHD (1920x1080) 用に設定されていますが、WXGA (1366x768) の解像度の画面を使われている場合は、Tools¥解像度\_1366x768 フォルダの下に WXGA 用の定義ファイルを用意しておりますので、その中の「練りの用心棒-窓 1.txt」と「練りの用心棒-窓 2.txt」を Tools 直下に上書きコピーしてパワーシェルを実行してください。

② パワーシェルが実行されて、ウィンドウが再配置されます。



#### (4) 日々の利用の流れ

ライセンスを入手して「練習の用心棒 20XX\_XX\_XXXX 銘柄.xlsx」を**アクティベーション**した後は、以下のような流れでご利用できます。

- ① 「練習の用心棒 20XX\_XX\_XXXX 銘柄.xlsx」を**練習開始する銘柄用にコピー**します。

例) 3月から**2432DeNA**に取り組む場合なら、練習の用心棒 2018\_03\_2432DeNA.xlsx というファイル名にコピーします。

- ② 株価データを「株価 Data」フォルダ内に CSV 形式で用意します。

※ **5章(3)**の株価データの取得について同意されている場合は作業不要です。

- ③ 最新の株価データを**ワンクリック**で練習の用心棒に装着します。

← **5章(2)**の株価データの装着 参照

- ④ 最新の日足チャートを見ながら、建玉のシートに**最終日の建玉**を入力します。  
適宜、チャートシートを**マーキング**編集していきます。

← **3章**の建玉シート 参照

← **4章**のチャートシート 参照

- ⑤ 一日待っては、**②～④**を繰り返します。以降、毎日繰り返します。

# 建玉シート

## 3. 建玉シート

### (1) 建玉シートの入力仕様

※建玉シートの実体は「練りの用心棒」という名称のシートです。

※セルの右上隅の赤い▲にマウスカーソルを合わせると、コメント説明が表示されますので参考にしてください。

### 【建玉シートのサンプル】

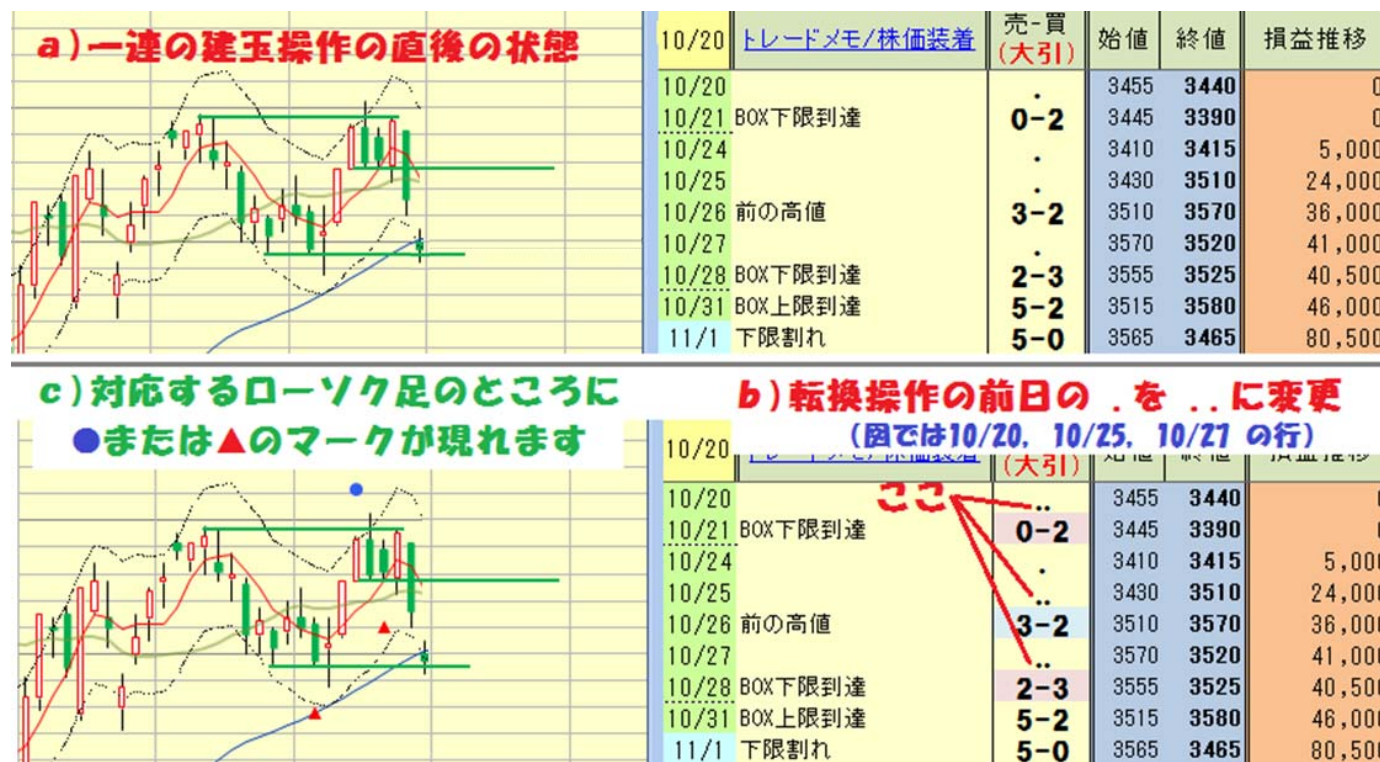
年号	銘柄名	銘柄コード	単位株数		年間損益	
2017	SAMPLE	9999	100	126,795	★お試し中はサンプル 年初1か月分のみ	
1/4	トレードメモ/株価装着	売-買 (大引)	始値	終値	損益推移	投入額推移 (みなし)
1/4	試し売り	2-0	1892	1848	0	369,594
1/5	時間軸固定日 安値割。売り追加	5-0	1828	1837	2,178	920,718
1/6		.	1839	1805	18,013	920,718
1/10		7-0	1801	1750	45,728	1,270,714
1/11		.	1704	1659	109,470	1,270,714
1/12		.	1620	1590	157,973	1,270,714
1/13	5日線の下 継続	.	1641	1686	90,766	1,270,714
1/16	安値が並んだ	0-0	1627	1634	126,795	0
1/17			1644	1604		

① 左上の青い年号欄は、ウィンドウ再配置用のツール(パワーシェ尔)を起動するボタンになっています。

(※ウィンドウ再配置は、EXCEL2013以降で機能します。EXCEL2007およびEXCEL2010では起動しても処理されません。)

- ② 「銘柄コード」(サンプルでは 9999)を入力すると、「銘柄名」と「単位株数」が対応するものに変わります。  
「単位株数」は、ご自分の建玉の規模に応じて修正してください。
- ③ 「年間損益」欄は、年間の損益通算を表示します。
- ④ 「時間軸固定日」を入力します。この固定日が、日足チャート(130日分)の左から60日目となるようにチャートが調整されます。
- ⑤ 左端列の「月/日」は、取引の無い日をあらかじめ削除していますので、建玉操作に集中できます。  
奇数月は水色、偶数月は薄緑色にしています。週の境は点線で示すという細かな配慮をしています。  
  
なお、株価データの無い月日の行は灰色に表示されます。
- ⑥ 「トレードメモ/株価装着」欄は適宜、建玉操作の根拠や明日以降の戦略等の記入にお使いください。  
なお、この欄のタイトル部分は、株価データ装着用のツール(パワーシェル)を起動するボタンになっています。
- ⑦ 「売-買」欄に大引け時点でのうねり取りの建玉操作を入力します。(例 1-0)  
建玉を入れる前の観察で日足を進めるとき、および、建玉を変えずに継続したいときは「.(ピリオド)」で指定します。  
注) 仕様上の入力制約：トレードを始める際は、「.(ピリオド)」を入力して翌日の終値を表示させて開始してください。  
先頭行を除き、一連のトレードの初日にピリオド以外の建玉を入れると正しく損益計算されません。  
  
⇒ 当日の終値で建玉を仕込み、翌日の行に翌日大引け時点での含み損益が計算されます。  
なお、1桁目にアスタリスク[\*]を付けて建玉を入力することで、翌日の始値を使用して損益計算することもできます。  
(例 \*2-1)
- ⑧ 「0-0」の建玉はうねり取りの区切りと扱い、当日終値で損益計算します。行が緑色(アンダーライン付)となりビジュアル化されます。  
「\*0-0」で建玉を入力すると翌日の始値で区切りと扱い計算します。区切日以降は、最初にピリオドを入力した上で再開できます。
- ⑨ 「始値」、「終値」欄には当日の大引け時点での株価が表示されます。
- ⑩ 「損益推移」欄には、当日の大引け時点での終値を用いた損益が表示されます。  
なお、当日の大引け時点での建玉操作として\*付の建玉が入力された場合は、翌日始値を用いた損益で、再表示されます。
- ⑪ 「投入額推移」は、一連のうねり取りでの日々の推移がみなし計算されます。

- ⑫ 建玉シートを最大化表示させると、「売りの損益推移」と「買いの損益推移」の詳細が確認できます。
- ⑬ 一連の建玉操作を終えた後に建玉を振り返る際、この転換操作したのはどのローソク足の時点だったのかと思うことが良くあります。  
 この場合、直前の「. (ピリオド)」を「. . (2つのピリオド)」に置き換えてみてください。  
 するとアラ？不思議！？。翌日の操作のきっかけになったローソク足に対し、  
 売りに転換操作した場合は上部に青い●、買いに転換操作した場合は下部に赤い▲のマークが表示されます。  
 あわせて建玉シート側のセルも薄い青、薄い赤に変わります。



# チャートシート

## 4. チャートシート

### (1) チャートシートの表示機能

① チャートのシートには以下の3種のシートがあります。

「日足」 130日分の日足チャート。時間軸固定日が左端から 60日目(右端から70日)にくるように表示されます。

「日足小」 250日分の日足チャート。時間軸固定日が左端から190日目(右端から70日)にくるように表示されます。

「反転」 株価データをマイナスで扱うことで、「日足」チャートを上下に反転させたチャートです。

※「日足」および「反転」チャートでは10日毎に、「日足小」チャートでは20日毎に、縦軸目盛りが表示されます。

② 移動平均線は5日(赤)、20日(緑)、60日(青)、100日(紫)、200日(橙)の5種類です。(300日線はありません)

また、5日移動平均線の±3%のエンベロープ線を付けています。

※チャートの右側部分の株価データが無いエリアは、最終日の移動平均値で水平に移動平均線を作図します。

※チャートの左側部分では、平均値計算の日数不足により、平均線が一部表示されない部分があります。

③ 建玉シートで、「売-買」列が空白でない最新日までのローソク足が表示されます。

これにより、建玉の入力を進めるにつれ、日足チャートも連動して表示が進んでいきます。

建玉操作を開始したい日付の「売-買」欄にピリオドを入力して、当日までのチャートを表示し、練習を開始していきます。

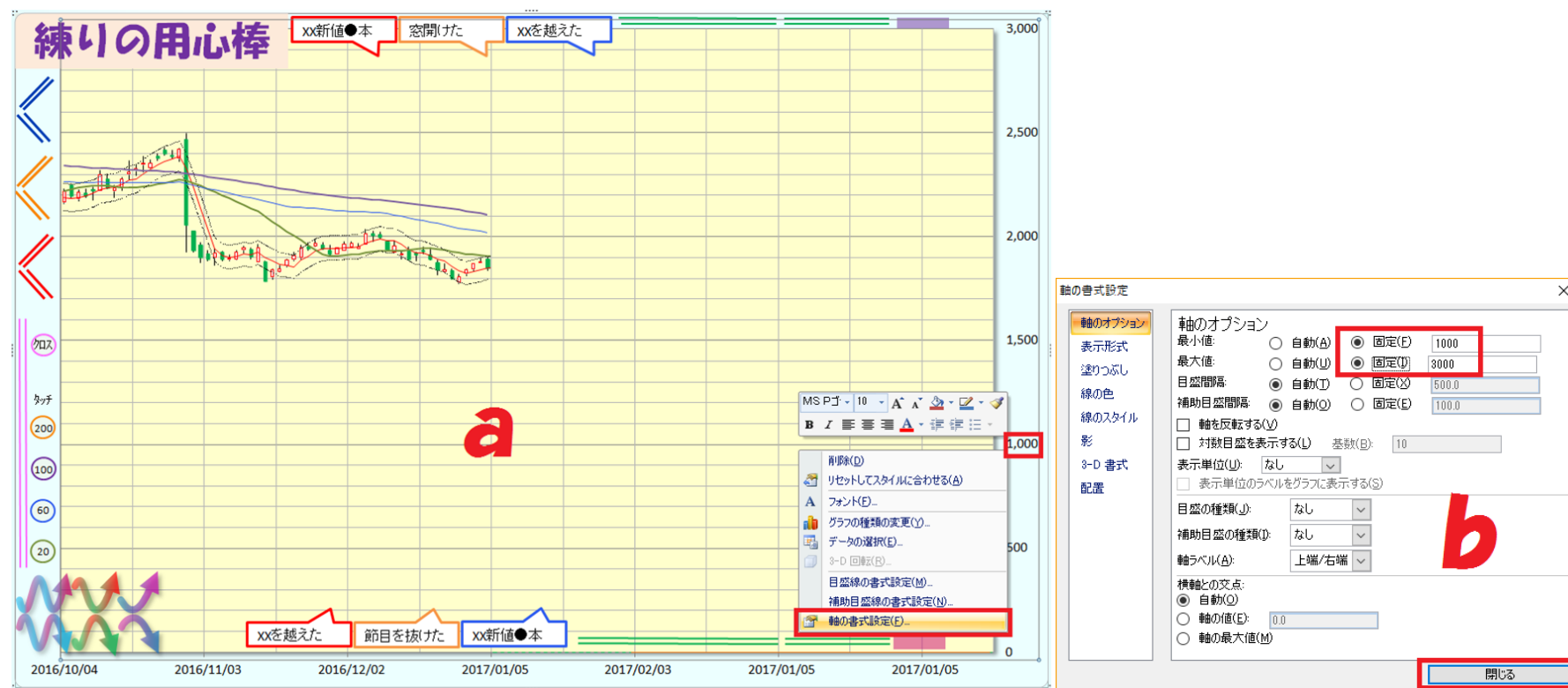
#### ④ 縦軸目盛りの調整

株価が大きな銘柄は、以下の手順で、最安値・最高値の近辺でキリのいい値を設定し、チャートを大きくすることができます。

a) チャートの右端の目盛りの数字を右クリックし、「軸の書式設定」を選択します。

b) 「軸のオプション」の「最小値」および「最大値」欄の「固定」にチェックを入れ、最小値および最大値を調整します。

下図は 1,000 と 3,000 に調整している例です。なお、株価の動いている方向の術野を少し広くとるのが良いかと思います。



※縦軸目盛りを調整後、チャートは（２）の①のC図のようになります。

## (2) チャートシートの編集機能

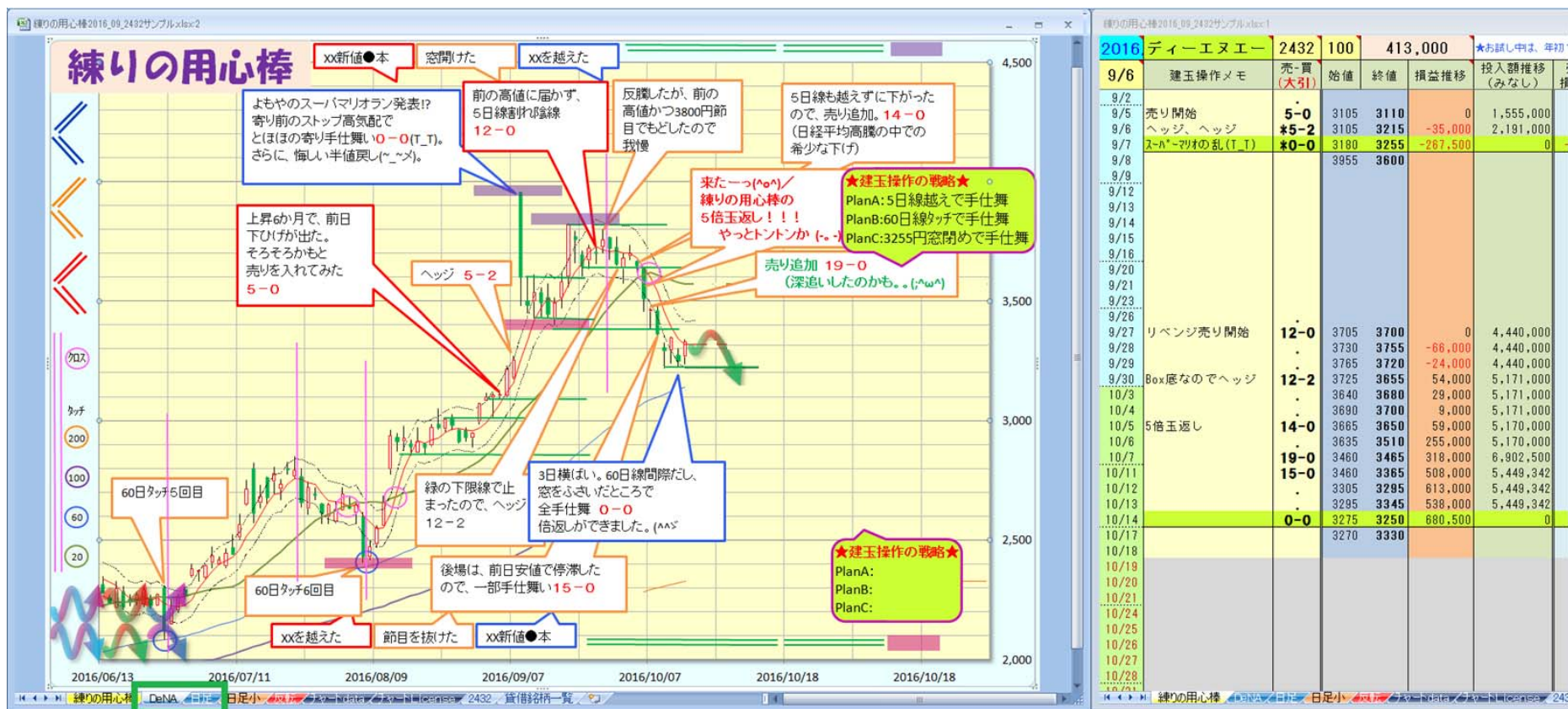
① チャートの周囲の淵に便利なパレットを配置していますので、適宜、コピーしてリーディングと戦略立案に活用できます。

図形操作の詳細についてはEXCELのマニュアルを参照願います。

※ワンポイント：「株価予想ライン」は、右クリックして「頂点の編集」機能を使えば、自由な形に変形編集することができます。



③ 実際にパレットを使ってマーキングしてみましたので、参考にしてください。



③ チャートシートは、シートの複製ができます。（図の左下の緑色の四角枠参照）

上図は「日足」のシートタブを右クリックして「移動またはコピー」機能で複製し、「DeNA」というシート名にしていたものです。複製機能をつかうと、ループバックで練習する際、前回のマーキングを温存したまま、容易に新たなシートで建玉練習ができます。

# 株価データの装着

## 5. 株価データの装着

### (1) 株価データの形式

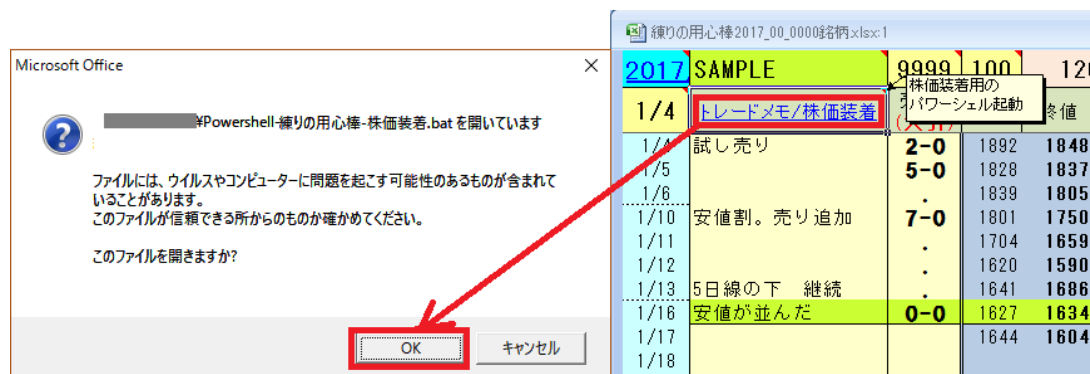
練りの用心棒は、「**株価 Data**」フォルダ内から株価データを取り込みます。ファイル形式は以下の仕様です。

- ① **CSV**形式で、ファイル名は「**銘柄コード.csv**」とします。
- ② **1**行目はヘッダ行です。**日付、始値、高値、安値、終値**の順となります。
- ③ **2**行目以降は、**最少250日分(1年分)**の株価データが必要です。(最新日付から250日分のみ使用します)
- ④ ソートした後に取り込みますので、**日付の昇順/降順どちらでもOK**です。

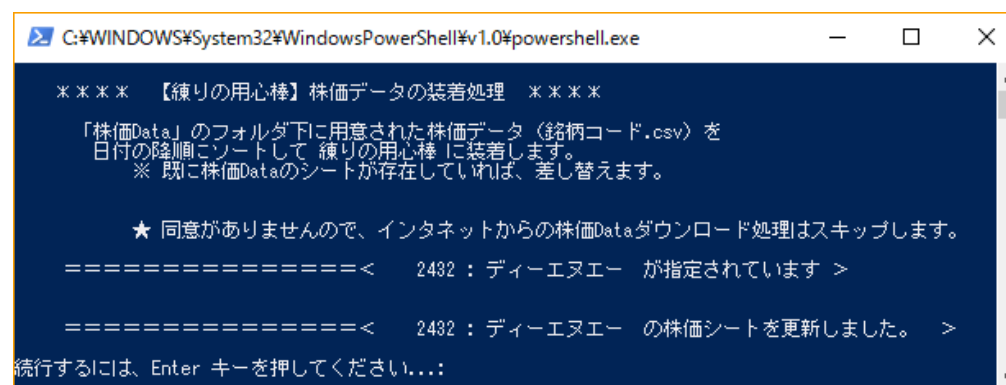
## (2) 株価データの装着

練りの用心棒は、Windowsのパワーシェルを使用して、株価データの装着(取り込み)を行います。

- ① 建玉シートのトレードメモ/株価装着をクリックし、「Powershell-練りの用心棒-株価装着.bat」を開く確認画面の「OK」を押します。



- ② セットされている銘柄コードを元に、「株価Data」のフォルダ下に用意された株価データ（銘柄コード.csv）を日付の降順でソートして、株価シートとして装着されます。Enter キーで画面を閉じます。



※練りの用心棒のEXCEL内に、指定の株価Dataのシートが存在する場合は、差し替えられます。

### (3) 株価データの取得について

練りの用心棒では、株価 Data フォルダ下の株価データファイル準備は利用者様にて実施いただくこととしており、**サポートの対象外**です。

パワースhellには、<http://kabuoji3.com/> というサイトからの取り込みを拡張機能として組み込んでありますが、この**サイト側の都合で利用できなくなる場合も想定されます**。

上記に**同意いただける場合は**、「Powershell-練りの用心棒-株価装着.bat」をメモ帳で編集し、**拡張機能をロック解除してご利用下さい**。  
下図の先頭の「REM」の4文字を削除すれば、株価データ装着に関し、快適な利用ができるようになります。

```
Powershell-練りの用心棒.bat - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
@echo OFF
SET Download=Skip
REM === 練りの用心棒のパワースhellをキックする ===

REM 【1】 インタネットからの株価Dataダウンロードの取り扱いについて
REM ①練りの用心棒では、株価Dataフォルダ下の株価データファイル準備は利用者様にて実施いただくこととしており、
REM サポートの対象外です。
REM ②パワースhellには、http://kabuoji3.com/ というサイトからの取り込みを拡張機能として組み込んでありますが、
REM このサイト側の都合で利用できなくなる場合も想定されます。
REM
REM 上記に同意いただける場合は、拡張機能をロック解除してご利用下さい。
REM 株価データ装着に関し、快適な利用ができるようになります。
REM
REM ★拡張機能のロック解除をするには、直下の行の「REM SET Download=Agree」を修正して、
REM 「SET Download=Agree」として下さい。(先頭の「REM」の4文字を削除します)
REM SET Download=Agree

REM 【2】 カレントディレクトリのセット
REM EXCELのhyperlink関数から呼び出されたバッチ
REM カレントディレクトリがEXCEL初期値のDocument
REM このため、batファイル自身が存在するディレク

cd /d %cd%

REM 【3】 パワースhellの実行
REM (行末に拡張機能のロック解除用の引数が付い

Start powershell -NoProfile -ExecutionPolicy Unrestricted
```

※ 株式分割等で価格帯が急に  $1/n$  に変化する場合があります。過去株価の補正がされない場合は、チャート表示がうまく扱えないため、該当する銘柄の練習は避けるようお勧めします。

※ **ロック解除後の装着処理の流れ** ⇒

```
C:\WINDOWS\System32\WindowsPowerShell\v1.0\powershell.exe

***** 【練りの用心棒】株価データの装着処理 *****

「株価Data」のフォルダ下に用意された株価データ（銘柄コード.csv）を
日付の降順にソートして 練りの用心棒 に装着します。
※ 既に株価Dataのシートが存在していれば、差し替えます。

★ インタネットからの株価Dataダウンロードの取り扱いについて 同意されています

=====< 2432 : ディーエヌエー が指定されています >

株価データ( 2432 )をダウンロードしています。。。

=====< 2432 : ディーエヌエー の株価シートを更新しました。 >

続行するには、Enter キーを押してください...:
```

# アクティベーション

## 6. アクティベーション

正規購入されたライセンスキーを適用することで、利用制限を解除できます。以下の手順でアクティベーションを実施してください。  
(お試し中は、年初1か月分のみのチャート利用に制限されています)

- ① 「\_アクティベーション-練りの用心棒 20XX.xlsm」 を起動します。

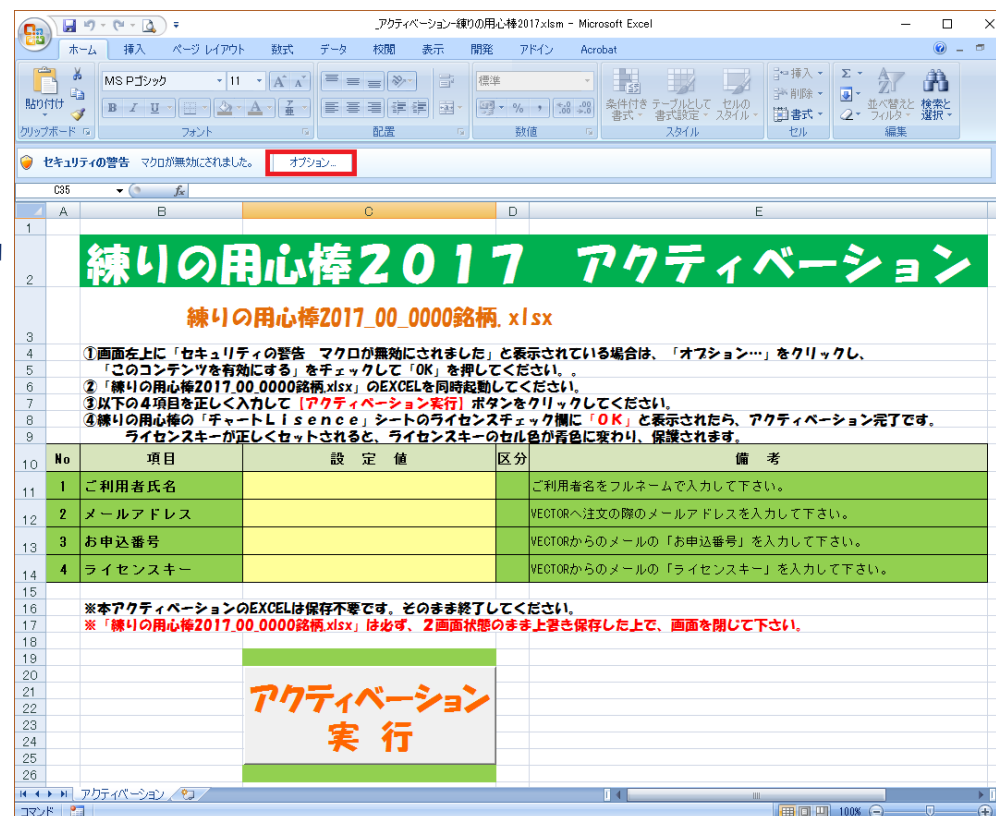
※画面左上に「セキュリティの警告 マクロが無効にされました」と表示されている場合は、「オフショ…」をクリックし、「このコンテンツを有効にする」をチェックして「OK」を押してください。

- ② 「練りの用心棒 20XX\_00\_0000 銘柄.xlsx」 の EXCEL を同時起動します。

- ③ 画面の4項目を正しく入力して【アクティベーション実行】ボタンをクリックしてください。

- ④ 練りの用心棒の「チャートLisence」シートのライセンスチェック欄に「OK」と表示されたら、アクティベーション完了です。

※ ライセンスキーが正しくセットされると、ライセンスキーのセル色が青色に変わり、保護されます。



# 制限事項等

---

## 7. 制限事項等

- ① ライセンスご購入者個人での利用に留めていただき、複製、転用、販売などの二次利用は禁止です。
- ② ライセンスは、ご購入者の方自身が利用されるアカウントかつコンピュータのみで 사용할 ことができます。

ご購入者の方が別アカウント（または別コンピュータ）で使用される場合は、再度ライセンスのアクティベーションが必要です。